

令和2年度国臨協関信支部地区代表者会議議事録（要旨）

日時：令和3年1月16日（土）13：00～15：30

場所：NHO 埼玉病院 本館2階大会議室、Web 会議

出席

国臨協関信支部

岩崎康治支部長、吉田茂久副支部長、若林弘副支部長、椎名將昭事務局長、井田貴明理事、市川遼理事、岡村康子理事、小川裕子理事、木津谷亮理事、中嶋菜緒美理事、屋良朝仁理事、北沢敏男相談役、山崎正明監事

地区会代表

茨城地区会：久間修平会長、栃木地区会：瀬下明子会長、群馬地区会：金子司会長、埼玉地区会：小沼進吉会長、千葉地区会：林亮会長、東京地区会：峰岸正明会長、東京・山梨地区会：佐藤成彦会長、神奈川地区会：蓮尾茂幸会長、新潟地区会：磯敬副会長、長野地区会：沼田ますみ会長

欠席

松林秀弥理事、渡辺靖特任理事、益田泰蔵監事

1. 開会の挨拶（吉田副支部長）

2. 支部長挨拶

皆様におかれましてはお休みの中ご参加いただきましてありがとうございます。今年度は新型コロナウイルスの影響もありまして研修会、学会など全ての行事が中止または別の形式による開催となり会員の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしたことと思います。以上を踏まえ、来年度に向けて様々な提案をさせていただきます。まずは各地区会の会長にご承認いただき、会員の皆様へ周知およびご検討いただければと思います。各地区会から様々なご意見やご提案を頂戴していますので後程一括してご回答させていただきます。本日は短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 令和2年度関信支部役員・地区代表者自己紹介

4. 関信支部経過報告

資料は事前に配布し、当日は追加発言および質疑応答がある場合のみ討議を行った

1) 事務局

本年度総会員数（会費納入者数）は672名であり、昨年より15名増え過去最多会員数となった。

各地区会との連携、国臨協本部・臨床検査専門職・技師長協議会との協力・連携、文化活動、関信支部との交流、諸会議の開催、第48回国臨協関信支部学会 学会賞選考、関信支部ホームページの

活用、関信支部規約改正、国臨協関信支部表彰者2名(有次 耕三 氏、山口 秀樹 氏)、会員証の発行について報告した。

2) 学術

関信支部主催研修会および学術委員会への講師派遣依頼については新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となり、学術委員会と連携して学会賞選考委員会、第48回関信支部学会をDVD視聴の形式にて開催した。また国臨協関信支部学術委員会に対するアンケート調査を行った。

3) 広報

国臨協関信支部ニュースは令和2年11月までに紙媒体として2回、PDF版(人事異動：令和元年11月15日～令和2年4月1日付)を1回発行した。紙面記事を検討して新たな内容が掲載できるように協議を重ね、国立病院機構関信グループ研修会、関信支部主催研修会、関信支部学会のお知らせと“集まれ若手技師”、認定資格体験記など若手技師に関連する内容や、開催できない研修会の代わりに“Case Study”として検査にかかる問題を掲載し、その解答をホームページに掲載しホームページアクセス向上を目指した。またホームページ更新のお知らせを施設連絡責任者宛にメール配信を行った。

5. 各地区会経過報告

資料は事前に配布し、当日は追加発言および質疑応答がある場合のみ討議を行った

1) 各地区会報告

各地区会代表者より組織状況、会議(理事会・総会)、広報(会報誌の発行等)、学術(研修会)、文化活動(レクリエーション等)の報告が行われた

6. 各地区会提出議題

資料は事前に配布し、当日は追加発言および質疑応答がある場合のみ討議を行った

1) 事務局関連(会員交流を含む)

(1) 関信支部常任理事会について

Q:理事会の開催形式。オンラインによる会議が可能となっているが支部理事会は新しい体制にするのでしょうか。

A:今年度は集合型やオンライン型および両方の形式を合わせたハイブリッド型の全ての形式について実施いたしました。一切集合できないことや一部の理事は集合できるなど状況により様々でしたが、議論が活発に行われたのは集合型であることでした。今後は状況を見ながら出来るだけ集合型を開催したいと考えています。

Q:コロナ禍のなかWebを利用したオンライン会議が活発になっている。理事会をオンライン形式で開催していく場合、支部の理事において今後は遠方の会員も理事に選出して理事会を開催できるのではないかと考えます。また、地区代表者会議も例年1回集合型として開催していたが、形式をオンライン形式とすることで複数回開催できるため意思疎通を支部と地区会で図れるのではないかと考えているので検討していただきたい。

A:すべての理事が一か所に参集して議論するのではなくハイブリット形式の理事会を開催することで通常通り議論が深まると考えますのでご意見を参考に進めていきたいと思ひます。また遠方の施設の会員からも理事として参画することも可能であると思ひます。

(2) 関信支部年度スケジュールについて

Q:年度スケジュールを新型コロナウイルス感染拡大程度の「収束」～「拡大」を3段階程度に仮定して、それぞれ提示することは可能でしょうか（オリンピック開催有無含む）。

A:COVID-19 感染症の状況による年間スケジュールの提示は困難と考へます。現在、非集合型開催について方法案を検討しており今年度中の開催を見込んでいます。研修会については関信支部提出議題の学術にてまとめて報告いたします。

(3) 関信支部会費について

Q:支部会費の検討について今年度の事業はCOVID-19 感染症により活動されていないので、残金がいづも以上になる。次年度の対応を検討する必要があるのではないかと。

A:繰越金は例年以上になることは間違いありません。しかし、会費改定は考へていません。

理由1:減額改定を望まれていると思われるが、規程をその都度改定しなければならないため一度減額すると増額しづらくなると思われます。

理由2:Web形式の研修会および学会への予算計上を考へています。

理由3:令和4年度は関信支部創立50周年を迎えます。記念行事や記念学会も視野に入れなければならないと思ひますのでご理解いただきたいと思ひます。

(4) オンライン環境支援について

Q:オンライン・Web環境のソフト、ハード面での充実。コロナ禍の中、オンライン〇〇、Web〇〇がかつてないスピードで浸透してきた中での特にハード面での充実をお願いしたい。

A:関信支部としては考へていません。全施設や全会員となると予算的にも困難です。施設の設備を利用いただきたい。自宅での設備となると、通信設備、通信料までと要望が広がる可能性がありますのでご理解ください。

(5) 関信支部地区会役員の人事異動時における対応について

Q:人事異動後の地区会役員の変更について

A:人事異動によって地区会役員が交代する場合は、代行を立てるか改めて選出するか地区会規程で決めていただきたい。交代時は支部に連絡いただきホームページ等で周知させていただきます。

Q:地区会役員の交代があった場合ホームページの更新がされていないのですがいかがでしょうか。

A:地区会から申し出がないと把握できないためご連絡をお願いいたします。

Q:地区会役員が任期途中の人事異動により交代した場合、ホームページの記載は異動前の役員の名前のままだが、後任の役員も二段に分けてホームページに記載することは可能でしょうか。

A:地区会から申し出があれば対応いたします。

(6) 会員交流（合同交流会・ビアパーティーなど）

Q:今年の合同交流会においては COVID-19 感染症の影響が大きいと思われるがその判断基準・時期についてはいつ頃なのかお聞きしたい。

A:令和 3 年度合同交流会について、例年の日程では開催しないことを理事会で決定いたしました。地区代表者会議での了承を得て会員に周知させていただきます。代替案として例年 7 月に開催しているビアパーティーの時期にずらすことができるか検討しています。毎年 4 月に国臨協関信支部定期総会、7 月にビアパーティー、9 月に関信支部学会と遠方の方は特に交通費も含め費用負担をお願いしていることもあり、在り方を検討していくことも考えております。

A:各地区会長の賛同多数により令和 3 年度合同交流会の開催は中止とした。

Q:会員相互の交流について、参集型イベントが難しい状況での方法を検討いただきたい。

A:感染対策を十分に行う条件下での開催も考えられますが、参加希望が見込めないのではと思われます。集合型開催が出来る状況まではホームページ等を利用した会員紹介などを企画していきたいと考えている。

2) 学術関係（学術委員会含む）

(1) 研修会について

Q:新型コロナウイルスで初めて PCR 検査に携わる人も多いと思うので、PCR 検査に関する研修会を企画してはいかがでしょうか

A:COVID-19 感染症検査についての研修会を企画しています。COVID-19 感染症関連検査として、2 月下旬にオンデマンド形式で研修会を開催する予定です。また本部などで研修会が行われていることから新型コロナウイルスの PCR 検査は様々な原理があり、非常に難しいテーマだと考えていますので、まずは支部で開催する研修会を視聴していただきご意見いただければと思います。

Q:どのような形式および場所で開催するか決定しているのでしょうか。

A:オンデマンド形式で 2 週間程度視聴できるような形式で開催したいと考えています。

Q:コロナ禍等を教訓にした集合形式以外の研修会のあり方について、今後の方針を伺いたい (Web 研修の開催等)。

A:学術より詳細な報告をさせていただきますが、政府や都道府県も明確に方針を出せていないことや各施設の判断も様々であると承知しています。厳格に制限している施設もあれば、制限の中でもルールを決めて運用している施設もあるなど難しい状況です。国の基準で考えれば会場キャパシティの 5 割程度であれば集合型の形式で開催も可能と考えますが、医療従事者である私たちがそこに踏み込められるかという葛藤もあると思います。何れにしても今後暫くはオンライン形式やオンデマンド形式を利用した研修会を企画していきたいと考えています。

Q:地区会総会・研修会が中止となったため、専門職や関信支部からの研修機会を失ってしまった。予定されていた研修内容や連絡事項等を何らかの形で配信してもらえないか。

A:関信支部に関しましてはホームページ上の掲載や各施設連絡責任者宛へメール配信を検討いたし

ます。専門職からの連絡事項については、専門職より回答していただきます。

専門職より回答

A:今までは各地区会に招待いただきお話をさせていただいていましたが、皆様のところで今後どのように開催していくか計画が決定していれば教えていただきたい。そのなかでどのような参加の仕方にしていくか考えていきたいと思います。

(2) 人材育成について

Q: 来年以降の退職者が多いため人材育成についてどう考えているか（来年以降の退職者が多いため）。

A: 関信支部としては、新人向けや中堅技師向けの研修会を企画していきます。管理者研修については、関信グループや技師長協議会で企画されています。関信支部も関信グループに中堅技師向けの研修を協力させていただいております。

Q: 新人教育の充実。基礎教育研修会は学術事業方針で決定しているところではありますが、技術面での教育研修等を検討していただきたい。

A: 技術指導についても学術委員派遣を可能としていますので、要望を出していただきたいと思います。但し、実施出来るかの検討はさせていただきます。以前の輸血検査における有志の会のような技術研修会は学術委員企画として開催が可能ですし、輸血部門では実施し支部からの支援もしています。会員からの要望も検討いたします。通常研修会のような技術研修会を関信支部で開催するのは困難と考えます。

(3) 学術委員について

Q: アンケート調査を踏まえた学術委員会の活動内容について今後の方針を知りたい。

A: 関信支部提出議題の学術より報告させていただきます。

Q: 学術委員会のあり方について大変多くの委員がいますが、実際に活動しているのは極少数である。一部の支部運営に関わっているのみである。

A: 今年度は活動していないように思われますが、学会抄録の査読や各地区会研修会への派遣、支部ニュース企画への協力、今年度も学会抄録集に分科会協力をしていただいております。アンケート調査を実施させていただきましたので、その結果を踏まえ更なる委員会活動を検討していきます。各地区会からの要望をお寄せください。

Q: 学術委員会について利用するにあたり敷居が高い気がします。ちょっとしたことを聞きたくてもQ&A集に施設名、個人名を載せられると聞きづらい。

A: 回答する際の必要事項ですのでご理解いただきたい。ホームページにQ&Aとして掲載する際には、検討いたします。

Q: コロナ禍の影響で地区会の研修会等が中止となり研修機会も減った。今後学術委員会が各地区会への学術サポートをどの様に考えているのか。また、どんな形でサポートできるのか具体的な提案をいただきたい。

A: 様々な形式で支援したいと思い検討していきますが、現状で各地区会に派遣することは困難であります。サポートとして地区会で企画された研修会に対して広く会員へ共有させていただく意味として支部研修会で利用するオンライン形式、オンデマンド形式の利用料の負担も考えていきたいと思っています。また Q&A 活動や支部研修会の記録も継続して行って参りますので、是非活用していただきたいと思います。各地区会で研修会を開催する場合、ご相談いただければと考えています。その際は地区会の企画ではありますが、地区会のみならず関信支部会員への情報提供として公開することもご了解していただきながら企画をしていただけたらと考えています。

Q: オンデマンド形式の研修会が増えることはありますでしょうか。

A: 回数は予算や時期的なこともありますので、まずは例年通りの回数を考えています。

(4) 国立病院総合医学会について

Q: 国立病院総合医学会の発表演題や参加者人数等の報告はないのですか。

A: 現在の国立病院総合医学会のエントリー方式や発表の割り振りでは、把握が困難です。各施設からエントリー状況を報告してもらうなど検討したいと思っています。

(5) 関信支部学会について

Q: 関信支部学会の開催方法について。一昨年と同じように外部委託にした場合の参加費などについて。

A: 集合型開催の場合、運営の一部を外部委託で考えていますが参加費の増額がないような予算立てを考えます。非集合型の場合は広告収入が取れるようでしたら会費と合わせた予算の中で検討いたします。非集合型の場合も、Web 形式の開催を検討しています。

Q: 支部学会地区会コーナーのポスター掲示について、マンネリ感があり内容の検討または廃止。

A: 関信支部としては継続する方向で考えております。またポスター印刷に係る費用負担が大きいとの御意見もあることから、支部ニュース印刷をお願いしている印刷所に印刷を一括して依頼するなど検討しております。その際には、データ提出のため期限厳守が原則となります。今年の場合はデータを提出していただきホームページ上に掲載するなどを考えております。

Q: 地区会の活動のひとつとなっているので、内容が変わる場合は早めに情報提供をお願いします。

A: 随時情報提供いたします。

(6) 研修会ライブラリ活用状況について

Q: 研修会ライブラリ活用状況について。

A: 令和元年度に新潟地区会からの貸し出し申請が 1 件あったのみです。

3) 広報関係

(1) 支部ニュース関連

Q:これまでの検査や感染対策など、新型コロナウイルスに関する各施設の問題と対策や経験談や失敗談・工夫したこと等を文章化してまとめたものを定期的に（例えば関信支部ニュース等で）情報発信してもらえないか検討して頂きたい。

A:検討させていただきますが、関信支部から情報を把握することも難しいため是非各地区会の会員の方々から投稿をお願いいたします。

Q:最近は学会誌も印刷物がなくなっている状況で、関信支部ニュースもホームページに掲載されているので、わざわざ印刷して配布することもないのでは。出来るだけ理事の負担も軽くなる方向で考えてみてはいかがでしょうか。

A:大変恐縮ですが、私の周辺で印刷物がなくなったというようには感じません。ホームページのアクセス状況を毎月確認していますが、多くの会員がアクセスしているとは考えられません。また、印刷物の配布でも全ての会員に読んでもらえていないと思われます。今後の検討課題としていきます。

(2) ホームページ関連

Q:新型コロナ関連事項について関信支部ホームページに枠を設けるなど、情報共有の場を提供して欲しい。

A:本部専門職およびグループ専門職からの情報提供等が職場長宛てに発信されているので活用していただきたい。また新型コロナ関連情報は日々様々な情報が更新されている現状では、支部ホームページでコンテンツを管理するのは困難と考えます。

Q:参集型のイベントが難しい折、ホームページの更なる充実、活用の推進をお願いしたい（新入会員の自己紹介記事等）。

A:一部、支部ニュースの紙面で企画していますが早急に検討していきたいと思います。

4) 他協議会対応

(1) 国臨協本部（事業関連）

Q:ホームページ上で各種申請手続きが可能となれば良いのですが。

A:国臨協本部の様式がWord等の電子書式で配布されていないのと、直接入力フォーマットに変更しなければならないと思われます。国臨協本部に要望いたします。

Q:タスク・シフト／シェアの各施設の状況などについて情報共有していただけると良いと思います。

A:国臨協本部および技師長協議会の事業として行われていますので、そちらを参考にいただければと思います。

Q:認定資格手当の充実。認定資格取得及び維持に対しモチベーションの向上のためにもお願いしたい。

A:国臨協本部および技師長協議会から院長協議会等への要望として行っています。

(2) 専門職対応

Q:関信支部として、関信グループ管内施設にて新型コロナ陽性の会員が発生した場合、近隣施設より応援体制が可能かどうかについて調査検討しているのか、または今後調査していく予定はあるのか教えていただきたい。

A:関信支部として調査することはないと考えています。

専門職より回答

A:関信グループ管内の臨床検査室において、複数の感染者がでるという状況にはなっておりませんが他のグループでは起きています。この場合、他施設から派遣するということが実際に行われており、派遣が必要な事態となった場合はグループ主導で考えることになると思います。

しかし人材を派遣したとしても受け入れる施設が応援体制を想定していない場合は、その対応自体が困難になってしまうと思いますので常日頃から施設ごとにおいて応援体制を想定のもとBCPを策定しておいたほうがよいと思います。危機管理という点も踏まえて策定しておいていただくとよいと考えています。

7. 関信支部提出議題

1) 事務局

(1) 支部ニュースにおける人事異動の掲載について

臨時号を合わせた計5回の支部ニュースの内、人事異動の掲載を国臨協本部調査に合わせて3回の掲載とすることを地区代表者の賛成多数により決定した。支部ニュース発行部数の確認のため、関信支部独自で適時会員調査を行うことがあるので、その際はご協力いただく。

(2) 国臨協関信支部定期総会および合同交流会の在り方について

第49回国臨協関信支部定期総会についてCOVID-19感染症の状況から集合型の開催は行わず、本年度と同様に書面表決での開催を決定した。また、合同交流会については各地区会提出議題にて報告済み。

2) 学術

(1) 関信支部主催研修会、第49回国臨協関信支部学会の開催について

集合型で開催できる場合、関信支部においては政府の方針に基づき会員が安全に学べる環境を整え、順次再開することを報告。また、集合型の研修会や学会が開催できない場合や参加できない会員に対して研修内容をオンデマンド配信し、視聴管理する方法をオンデマンド配信に伴う費用の資料とともに報告した。

Q:地区会での研修を行う場合、関信支部のサーバーを貸していただくことは可能でしょうか。

A:サーバーは1回ずつの契約になり、次年度の研修会は例年通りの回数行いたいと考えているため500,000円程の出費を考えている。しかし、本年度の繰越金も多いため地区会から要望いただき相談したいと思います。

(2) 学術委員会による地区会への学術的支援について

今年度の学術委員会活動を報告。また今後の対応として地区会からの要望に応じて国立病院機構本部が導入したCisco Webex(Room55)やZoomなどを活用し、学術委員による出前講演や実技指導を行うことをWeb会議ツール利用に伴う費用の資料とともに報告した。

Q:アンケートの結果を踏まえて学術委員の皆様はどのような感想や考えがあるのでしょうか。

A:これから学術委員へご提示させていただき今年度中に学術委員の各部門長とWeb会議を行い、結果を踏まえて次年度の方針を決めたいと思います。

(3) 報告事項

国臨協関信支部学術委員会に関するアンケート調査結果について

令和2年11月に実施した国臨協関信支部学術委員会に対するアンケート調査について、アンケート調査結果の資料を用いて報告した。

3) 広報

(1) 資格取得体験談や若手技師の紹介を掲載

資格取得の体験談を通して資格取得の一助になればと考える。また若手技師の紹介も併せて掲載し、多くの会員に興味をもって読んで頂ける内容を目指す。

(2) 新企画“Case Study”を通して、ホームページ利用率向上を促す

検査に係る教育的問題を学術委員へ監修いただき、支部ニュースに出題して解答および解説をホームページに掲載する。紙面構成の刷新とホームページの利用率向上を目指す。

Q:紙面だと画像が小さくなるのでホームページを利用して載せていただければと思います。またホームページを利用することで動画の視聴も可能になるのではないのでしょうか。

A:今後検討いたします。

(3) ホームページのアクセスについて

支部ニュースと連動した情報を掲載し、ホームページのアクセス向上を目指す。

今後もホームページへ掲載する情報を更新した際に施設連絡責任者にその案内を配信する。

8. 監事挨拶（山崎監事）

コロナ禍でお忙しい中、各地区会の代表におかれましては貴重な時間を割いていただき感謝いたします。支部役員においては本日いただいたご提案を参考に検討していただき今後も多くの会員、特に若い会員のために研鑽を積んでいただきたいと思います。

9. 相談役挨拶（北沢相談役）

お疲れ様でした。新しいスタイルの会議も浸透しており慣れてきたと思いますが、先の議題にもありました地区会への参画をどのようにするかが今までの悩みであります。ぜひ会員の皆様の近くで情報提供が行えるような機会を作れればと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。また神奈川地区会から人材育成や退職者が多くなると議題に挙がりましたが、主任候補者選考試験を受験する対象者が少なく大量退職の中、今まで通りの検査室運営では立ち行かなくなると思われます。技師長とは何か、主任とは何か施設特性に合わせて組みなおし考えることも必要になると切実に思っております。地区会の皆様におかれましては、このような状況ですので積極的に地区会から情報発信をしていただけたらと思います。皆様の力を自身の力に変えて私も頑張らせていただきます。

10. 閉会の挨拶（若林副支部長）